

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 秋田市社会福祉協議会

令和4年度事業報告書

新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた活動も、少しずつ再開されました。

地域福祉活動の推進においては、地域サロンなど人が多く集まる行事について、感染対策に配慮しながら活動を再開したほか、見守り訪問活動を継続実施し、各地区社協の創意と工夫により取り組まれました。その他、地区社協へ地域福祉フェアで使用したパネルを貸出し、各地区社協の取り組みや活動の周知を図りました。

自立生活支援関連では、新型コロナウイルスの影響により収入減少となった世帯を対象とした生活福祉資金特例貸付の受付が令和4年9月末で終了しましたが、生活に困窮する相談者が絶えず、秋田県社会福祉法人経営者協議会の配分による生活用品等の支給、フードバンクあきた、民間企業・団体から寄付された食料を生活困窮世帯に配布し支援しました。また、秋田市権利擁護センターでは、成年後見制度の周知に努め、日常生活上の判断に不安がある方が地域で安心して生活ができるよう相談対応をし、法人後見の受任にも繋がりました。

令和4年8月の大雨により被災した五城目町の復興支援として、五城目町災害ボランティアセンターへ職員を派遣したほか、資機材の貸出を行いました。また、秋田県共同募金会からの助成を受け、災害時等で使用する車両の整備を行いました。さらに、日本赤十字秋田看護大学および日本赤十字秋田短期大学と、災害時におけるボランティアの確保や防災活動、地域福祉に関する取り組みや介護予防、認知症予防についての「包括的な連携協力に関する協定」を締結しました。

地域における公益的な取り組みを推進する秋田市地域福祉おむすびネットでは、これまでの取り組みのほか、登録している法人と情報交換会を開催し、今後の充実強化に向けて登録法人の現状や課題の共有を図りました。

介護事業関連では、新たに河辺地域包括支援センターと川元地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、認知症予防事業等を行いました。また、介護事業運営の安定化・効率化のため、居宅介護支援せせらぎ事業所を令和5年3月末で廃止し、居宅介護支援河辺事業所へ統合しました。

その他、令和4年度事業計画に対する取り組みについては、別紙のとおり報告します。

1 小地域福祉活動の推進

(1) 見守りネットワーク事業 ※ () 内は前年度実績

- ・各地区社協、地区民児協をはじめとして町内会長、福祉協力員等との連携を図り、地域内の見守りが必要な高齢者世帯等への見守り・声かけ活動や安否確認等を行い、孤立化を予防するとともにニーズや緊急事態の早期発見に努めた。

実施地区	39地区	(39)
------	------	------

- ・「見守りネットワーク事業の手引き」を活用し、見守り体制の充実を図った。
- ・コロナ禍においても感染対策に配慮しながら各地区の創意工夫で取り組んだ。
- ・広報あきたに事業内容を掲載し啓発に努めた。

(2) 安心キット事業（救急医療情報キット事業）

- ・各関係機関や見守りネットワーク事業と連携しながら、安心キット事業の更なる推進を図った。

- ・安心キットの設置世帯数 16,967 世帯（令和3年度末）
- ・安心キットの活用件数 23 件（令和4年1月～12月、秋田市消防本部から情報提供）
- ・市内の郵便局の協力を得て、安心キットの配布や更新の呼びかけの強化を図った。
- ・安心キットの啓発に努めた。（障がい者のためのくらしのしおり、暮らしに役立つサービス、広報あきた等）
- ・事業の円滑な運営等を図ることを目的として推進会議を開催した。

開催日	令和4年12月23日（金）	秋田市老人福祉センター	出席者 21 人
案件	安心キット事業の実施状況について 安心キットの活用状況について 今後の課題と方向性について		

(3) 車両・除雪・災害関連用品等の貸出 ※ () 内は前年度実績

- ・地区社協、町内会等の各団体に対して、行事・イベントの開催や買い物支援などのために機器および機材、または福祉車両等を無料で貸し出し、コミュニティ活動および地域福祉活動の活性化、地域住民やボランティア団体等が主体的に地域での支え合い活動に取り組んでいくための体制づくりを支援した。

貸出物品	貸出件数	貸出物品	貸出件数
軽トラック	35件 (42)	ノートパソコン	33件 (32)
リフト付き送迎車	12件 (41)	プロジェクター	68件 (62)
送迎車	84件 (77)	スクリーン	44件 (44)
握力計	6件 (6)	暗幕	5件 (4)
体組成計	2件 (0)	綿菓子機	21件 (20)
足指力計測器	1件 (0)	ポップコーン機	8件 (6)
フロアカーリング	4件 (3)	かき氷機	14件 (10)
スロットボール	6件 (15)	テント	4件 (1)
スマイルボウリング	6件 (4)	ビンゴ	11件 (8)
室内用ペタンク	11件 (12)	ダーツ	4件 (2)

グラウンド・ゴルフ	10件 (9)	発電機	3件 (0)
輪投げ	11件 (15)	除雪機	2件 (2)
カラオケセット	31件 (28)	融雪機器	0件 (0)
ワイヤレスアンプ	81件 (45)	炊き出し機器	0件 (0)
DVDプレイヤー	4件 (8)	D V D	3件 (2)

・買い物支援事業の実施状況

	実施回数	利用者 延べ人数	ボランティア 延べ人数
河辺地区社協	24回 (24)	85人 (61)	24人 (24)
雄和地区社協	51回 (52)	235人 (237)	51人 (52)

2 介護予防・交流事業の推進

(1) 地域元気アップ事業 ※ () 内は前年度実績

・地域の高齢者を対象として「地域元気アップ事業」を実施した地区社協に対して助成金を交付し、介護予防や孤立予防の推進を図った。

①健康づくり・生きがいづくり支援事業

助成金交付 39 地区(38) 16,140,000 円(15,518,683)

・軽スポーツ ・趣味活動 ・健康づくり ・交流事業 ・その他

②地域サロン事業

助成金交付 38 地区(38) 2,405,000 円(2,405,000)

(2) 地域サロン強化事業 ※ () 内は前年度実績

・地域サロンのさらなる充実や拡大を図ることや高齢者や障がい者等の傾聴により社会的孤立をより一層予防し、自殺予防対策の一助とした。

助成金交付 30 地区(23) 1,350,000 円(1,035,000)

3 子育て支援の推進

(1) 子育て支援事業 ※ () 内は前年度実績

①子育て支援用おもちゃ貸出事業

貸出件数 49 件 (16)

②子育て講話開催経費助成事業

・地域における子育て活動支援とともに安心して子育てができる環境づくりを目的として、市内の子育てサークルおよび団体が開催する「子育て講話」に要する講師謝礼(交通費を含む)を助成した。

13 団体(12) 延参加者 親 74 人 子 85 人 計 159 人(197)

③子育て支援への助成等

地区社協または地区民児協が行う子育て支援事業に対して助成を行った。

32 地区(35) 640,000 円(700,000)

4 地域での福祉活動への支援

(1) 福祉協力員の設置および活動の推進 ※ () 内は前年度実績

- ・各地区社協の地域福祉活動に協力する町内会単位の福祉協力員設置の推進を図った。

設置地区数	35地区	(35)
福祉協力員数	1,100人	(1,217)

- ・福祉協力員等研修会へ参加し、福祉協力員の活動について啓発した。
4地区で実施

(2) 地区社協事務担当者研修会の開催

開催日	令和5年2月24日(金)
会場	イヤタカ
参加者	38地区 72人
内容	研修 事業内容および事務手続きについて

(3) 地域福祉活動合同研修会

開催日	令和5年2月10日(金)
会場	あきた芸術劇場ミルハス 中ホール
参加者	地区社協関係者、民生委員・児童委員、町内会長、福祉協力員、一般市民等 約300人(前年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止)
内容	講演「コロナ禍での地域福祉活動について」
講師	仙台白百合女子大学人間学部心理福祉学科 准教授 志水 田鶴子 氏

(4) 拠点づくり・事務機器整備支援事業 ※ () 内は前年度実績

- ・地区社協の拠点づくりの促進または拠点の強化、地区社協の事務機器の整備を支援するため助成を行った。

拠点づくり	2地区 (2)	200,000円 (199,110)
事務機器整備	6地区 (8)	180,000円 (240,000)
計	8地区 (10)	380,000円 (439,110)

(5) 地区社協各種研修会への支援 ※ () 内は前年度実績

①地区社会福祉協議会研修支援事業

- ・複数の地区社協が合同で実施する研修会の開催経費や地区社協が実施する研修会で移動に要するバス等の借上げ料の助成を行った。

研修会の開催経費	0地区 (1)	0円 (20,000)
バス等の借上げ料	1地区 (1)	20,000円 (20,000)
計	1地区 (2)	20,000円 (40,000)

②地区社協ブロック研修会

- ・各ブロックにおいて地区社協役員および事務局員の研修を行う際に、その開催経費の一部を負担し、地域福祉活動についての情報交換、研修活動を支援した。

A・Cブロックで開催

③地区社協の要望に応じ、研修会等での講話や事業の説明を行い支援した。

8回 7地区

(6) 地区社協活動等への支援と協力 ※ () 内は前年度実績

①「秋田市地区社会福祉協議会連絡会」への活動支援と協力を行った。

②横断幕、垂れ幕、ポスター作成の支援

地区社協	6件	(9)
地区民児協	19件	(3)
町内会	5件	(7)
福祉団体・その他	71件	(49)
計	101件	(68)

③大型印刷機等の利用支援

紙を持参することにより印刷費を無償にし、地区社協、地区民児協、町内会、団体会員の活動を支援した。

印刷実績 289,835枚 (190,582)

④地域福祉活動推進費の助成

39地区(39) 14,459,200円(14,396,960)

⑤地域福祉フェアパネルの貸出

・地域福祉フェア 2021 で使用したパネルを地区社協へ貸出し、各地区社協の取り組みや活動の周知を図った。

【貸出地区】

- ・桜小地区社協 地区社協紹介パネルをコミセンに掲示
- ・茨島・卸町地区社協 地区社協紹介パネルをコミセンに掲示
- ・地区社協Aブロック研修会にて活用

5 相談支援活動の充実

(1) ふれあい福祉相談センター事業

- ・相談体制 相談員3名(1日2名体制)
- ・開設日数 241日(週5日〔月～金〕、午前9時～午後4時)
- ・相談件数

単位：件

	生	年	職	住	家	結	離	健	医	精	人	財	事	児	教	心	母	老	苦	人	日	ひ	そ	合
	計	金	業	宅	族	婚	婚	生	療	保	法	産	故	童	育	身	子	人	情	間	常	き	の	計
			・					衛		健	律			福	障	父	福		関	生	こ	他		
当年度	16	0	26	9	69	0	1	39	19	216	21	7	5	1	0	346	0	45	1	17	238	0	117	1,193
前年度	18	3	35	8	70	0	2	33	24	291	14	18	2	1	0	308	1	30	0	22	325	4	94	1,303

※下記「無料法律相談」の件数は上記相談件数に含まない。

- ・弁護士による無料法律相談 ※（ ）内は前年度実績

毎月第3月曜日 秋田市老人福祉センター（協力：秋田弁護士会） 単位：件

件数	相談内訳						合計
	家庭	金銭	不動産	交通事故	相続	その他	
43(42)	6(4)	6(6)	11(11)	0(0)	14(20)	7(7)	44(48)

※1回に複数の相談内容があったため、件数と相談内訳の合計は異なる。

- ・ふれあい福祉相談センターや弁護士による無料法律相談の開催について広報あきたやホームページへ掲載、関係機関へリーフレットを配布し市民へ周知した。

6 在宅福祉サービス事業

(1) ふれあいさん派遣事業 ※（ ）内は前年度実績

- ・急な病気、ケガ等の時に「ふれあいさん」を派遣し、短期間単発の生活支援をすることにより、介護予防や子育て支援につながった。

①利用状況

実利用者数	80人 (85)	男19人 女61人(男19人 女66人)
延べ利用回数	731回 (648)	月平均 60.9回
利用延べ時間	1,268時間 (1,166)	月平均 105.7時間
利用平均年齢	74.1歳 (75.5)	
稼働日数	229日 (234)	
登録ふれあいさん数	10人 (10)	

②派遣理由

単位：件

内容	病気	退院直後	ケガ	介護者不在	産前産後	その他
件数	262(253)	0(5)	25(18)	0(0)	8(17)	24(16)

③サービス内容

単位：件

内容	買物・調理	洗濯	掃除	世話	外出	見守り	薬取り	沐浴	その他
件数	245(233)	219(193)	191(160)	105(92)	198(210)	33(25)	52(34)	26(47)	114(70)

④他制度へ移行した人数 31人

⑤その他

- ・事業案内のポスターの掲示や電子看板（デジタルサイネージ）放映、広報あきた、ホームページ等により事業のPRに努めた。

(2) 移送車貸出事業 ※（ ）内は前年度実績

- ・障がい者の通院、買い物等のため移送が必要な世帯等に対し、移送車を貸出した。

台数	2台 (2)
登録者数	62人 (42)
利用回数	298回 (206)

（ガソリン代は自己負担）

(3) 見守り機器助成事業 ※（ ）内は前年度実績

- ・在宅で暮らす認知症の方、知的障がい児者、精神障がい者等が道に迷ったり、自分の家がわからなくなる恐れがあるなど、不安を抱える世帯に対し位置情報を把握するための

装置、本人が自宅から離れたことを知らせる装置等の利用に伴う購入費用または、レンタル費用の一部を助成対象とした。

助成額 上限 10,000 円

申請件数	0 件 (2)	助成件数	0 件 (5)	助成額合計	0 円 (50,000)
------	---------	------	---------	-------	--------------

- ・位置情報を確認できる各種装置や民間サービスの情報提供を行った。

(4) 福祉機器貸出事業 ※ () 内は前年度実績

①在宅で福祉機器を要する世帯に対して貸出した。

貸出物品	貸出件数
車 い す	119 件 (86)
介護用ベッド	5 件 (4)
エアマット	2 件 (4)
シャワーチェア	2 件 (6)

②コミセンや市民サービスセンター等に車いすを設置し貸出を行った。

貸出件数	172 件 (173)
------	-------------

(5) 秋田市手話通訳者設置事業【市委託】 ※ () 内は前年度実績

- ・聴覚障がい者等の日常生活および社会生活におけるコミュニケーション手段のため手話通訳者を派遣した。

手話通訳者	1 人 (1)
通訳件数	453 件 (633)

(6) Re再くるネット（日用品・介護用品の再利用） ※ () 内は前年度実績

- ・不要になった日用品・福祉機器・ベビー用品等を善意でゆずりたいという物品情報を募り、ホームページや SNS を通じて、生活困窮者を支援する団体・機関へ向けて情報を発信することにより、必要とする市民へ物品を提供した。

ゆずる方登録者数	51 人 (51)
ほしい方登録者数	16 人 (22)
マッチング件数	13 件 (15)

(取り扱った主な物品)
テレビ、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、電気ケトル、フライパン、包丁、布団、毛布、マットレスなど

7 健康・生きがいづくりの促進

(1) 秋田市老人福祉センター【市委託】 ※ () 内は前年度実績

①利用状況

個人利用者	22,050 人	男 10,157 人 女 11,893 人
団体利用者	10,276 人	1,199 団体
合計	32,326 人	(29,780)
開館日数	294 日	(294)
1日平均利用者	110 人	(101)

②部屋別利用延べ人数

単位：人

図書コーナー	ヘルストロン	娯楽室	浴室	録音室	会議室
2,021(2,043)	11,846(10,312)	2,353(1,893)	17,500(17,011)	114(86)	10,276(9,380)

③高齢者生きがい事業

・高齢者の生きがいと健康づくりのため「けやき大学」を開催した。

講座名	科目	回数	参加者延べ人数
趣味・教養	書道ペン習字教室	10回(0)	158人(151)
健康づくり	太極拳教室	8回(8)	117人(109)
	心と体の健康教室	12回(0)	150人(0)
合計		30回(30)	425人(410)

(2) 秋田市老人いこいの家【市委託】

①利用状況

施設名	八橋	飯島	大森山
利用人数 男	2,858人	11,324人	3,255人
〃 女	2,538人	4,898人	3,607人
〃 子供	—	—	758人
計	5,396人	16,222人	7,620人
前年度	4,642人	17,452人	19,055人
開所日数	296日	296日	296日
一日平均	18.2人	54.8人	25.7人
前年度一日平均	15.7人	59.0人	64.6人

②利用内容

単位：人

		八橋		飯島		大森山	
		当年度	前年度	当年度	前年度	当年度	前年度
老人	会議等	1,323	793	0	0	4	0
	交流会・同好会等	3,521	3,249	1,585	2,181	2,083	1,835
	入浴	—	—	8,351	8,519	—	8,496
	ヘルストロン	—	—	603	691	874	2,760
	体育館	—	—	—	—	2,995	3,553
	いきいきサロン	227	253	128	90	135	113
子供	その他	325	370	5,555	5,971	717	1,694
	体育館	—	—	—	—	187	227
	子ども部屋	—	—	—	—	625	377
計		5,396	4,665	16,222	17,452	7,620	19,055

※ 飯島老人いこいの家の入浴利用については火曜、木曜、土曜の週3日のみ

※ 八橋老人いこいの家は入浴利用を休止

※ 大森山老人と子どもの家はボイラー故障により令和4年度から入浴休止

③健康相談等

単位：人

	八橋		飯島		大森山	
	当年度	前年度	当年度	前年度	当年度	前年度
健康相談	60	94	1,283	1,690	820	1,574
血圧測定	551	495	1,537	2,011	933	1,645
処置	0	0	1	7	0	3

その他の相談	0	0	2	3	0	0
--------	---	---	---	---	---	---

④いきいきサロン

	八 橋		飯 島		大森山		雄和ふれあいプラザ	
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
体を動かそうADL体操	8回	195人	3回	39人	3回	38人	2回	25人
タオルを使った健康体操	-	-	3回	40人	3回	58人	1回	10人
秋田民謡手踊り教室	-	-	1回	16人	-	-	-	-
ダンスセラピー ～心と体の音楽運動療法～	1回	32人	2回	33人	2回	30人	1回	11人
山の幸染め教室	-	-	-	-	-	-	1回	6人
ラフターヨガ	-	-	-	-	1回	9人	-	-
お正月アレンジメント	-	-	-	-	-	-	1回	10人
羊毛フェルトアート（うさぎ）	-	-	-	-	-	-	2回	26人
クラフトテープ	-	-	-	-	-	-	2回	22人
ちりめんで作る吊るし飾り	-	-	-	-	-	-	2回	37人
合 計	9回	227人	9回	128人	9回	135人	12回	147人
前 年 度	9回	253人	9回	90人	9回	113人	12回	106人

(3) 秋田市雄和ふれあいプラザ【市委託】 ※（ ）内は前年度実績

①利用状況

男	488人	(524)
女	1,771人	(1,614)
計	2,259人	(2,138)
一日平均利用者数	9.3人	(8.8)
開所日数	244日	(242)

②利用内訳

各種会議	306人	(285)
各種講習会	15人	(0)
交流会等	184人	(72)
同好会等	763人	(683)
いきいきサロン	148人	(106)
ゆうゆうくらぶ	144人	(174)
ヘルストロン	274人	(376)
その他	425人	(442)

8 ボランティア活動の振興

(1) ボランティアセンター事業【市委託】 ※（ ）内は前年度実績

①広報誌の作成および発行

「ぼらんていあ情報」を6回（隔月）発行。

②ボランティアニーズの把握を行い、個人ボランティア、団体ボランティアの募集と登録および活動の紹介を行った。

(ア) ボランティア登録数

個 人	95 人	(91)
男	35 人	(31)
女	60 人	(60)
団 体 数	226 団体	(218)
団 体 人 数	4,582 人	(4,572)
男	1,534 人	(1,547)
女	3,048 人	(3,025)
登録者 合計	4,677 人	(4,663)
男 合計	1,569 人	(1,578)
女 合計	3,108 人	(3,085)

(イ) ボランティア活動紹介件数

施 設	9 件	(4)
団 体	27 件	(14)
在 宅	14 件	(45)
自 宅	0 件	(0)
そ の 他	4 件	(4)
合 計	54 件	(67)

③ ボランティア養成講座の開催

講 座 名	開催回数	参加人数
チビッコボランティア	5 回 (0)	26 人 (0)
ジュニアボランティア	9 回 (5)	28 人 (26)

※令和3年度はチビッコボランティアについては新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した

④ ボランティア活動保険への加入状況

区 分	団体数および人数	備 考
ボランティア	3,194 人 (3,161)	
内 訳		秋田市負担分 550,375 円
団 体	176 団体 (179)	3,169 人 (3,134)
個 人		25 人 (27)
地区社協・地域福祉関係者	2,813 人 (2,810)	秋田市負担分 431,375 円 ボランティア基金 431,375 円 社協会費充当 121,800 円
災害ボランティア(市外)	1 人 (0)	秋田市負担分 0 円
災害ボランティア(市内)	14 人 (72)	
除 雪	522 人 (402)	
内 訳		秋田市負担分 166,600 円 社協会費充当 16,100 円
団 体	15 団体 (12)	454 人 (337)
個 人		22 人 (22)
町内会	8 町内 (6)	46 人 (43)
合 計	6,544 人 (6,445)	秋田市負担分 1,151,775 円 ボランティア基金 431,375 円 社協会費充当 137,900 円

⑤ ボランティア活動に関する情報収集や情報整理を行った。

⑥ 福祉施設、関係機関との連携

介護支援ボランティア制度と連動し、福祉施設との連携を図った。また、高齢者疑似体験等の貸出や講師派遣を行い関係機関との連携を深めた。

⑦ ボランティア活動に関する講師派遣（リモート対応）

令和5年1月25日 秋田大学 人権と共生ーボランティア活動論ー 参加学生 108 人

⑧ ボランティアセンター運用システムにより、ボランティアセンターの機能の強化を図った。

(2) 介護支援ボランティア制度の運営【市委託】 ※ () 内は前年度実績

①制度の広報、啓発

- ・秋田駅東西連絡自由通路（ぼぼろード）へポスターを掲示し市民への啓発を行った。
- ・登録講習会の開催を周知するため、リーフレットを作成し関係機関等へ配布した。

②登録講習会 10回開催 (10) 参加者 47人 (54) 男 10人 (14) 女 37人 (40)

③登録状況

	男	女	計
前年度までの登録者数	115人 (120)	362人 (375)	477人 (495)
新規登録者数	7人 (9)	25人 (27)	32人 (36)
登録抹消者数	22人 (14)	65人 (40)	87人 (54)
計	100人 (115)	322人 (362)	422人 (477)

④指定受入機関数

介護保険施設等	117施設 (117)
放課後児童クラブ・児童館・児童センター	50施設 (50)
秋田市立図書館	5施設 (5)
計	172施設 (172)

⑤ (ア) 実活動者数

101人 (128) 男 15人 (17) 女 86人 (111) ※令和5年3月の実活動者数

(イ) 延べ活動時間 8,571時間 (8,341)

⑥ポイント活用申請の状況

ポイント申請者数	168人 (215)	
申請ポイント数	5,580P (7,710)	
換金ポイント数	5,280P (7,500)	※1P=100円
寄付ポイント数	300P (210)	※市社協への寄付 7人 (8)

⑦介護支援ボランティアを対象とした研修会を開催した。

開催日 令和4年11月30日(水)あきた芸術劇場ミルハス 中ホール 参加者 100人

内容 ボランティア活動紹介 「まごころ友の会」、映像紹介

講演 『子どものこころを理解する - 「きく」ことの基本的考え方-』

講師 秋田大学大学院 心理教育実践コース 教授 北島 正人 氏

(3) 除雪支援の実施 ※ () 内は前年度実績

- ・除雪ボランティアとの連携による除雪活動

除雪支援相談件数 20件 (79)

活動件数 15件 (43) ①ボランティア対応 11件 (43) ②その他の対応 4件 (0)

- ・除雪ボランティア登録状況

	団体数	登録人数
団体	18団体 (12)	470人 (356)
個人	—	26人 (30)
計	18団体 (12)	496人 (386)

- ・除雪機器等の貸出
※2、3 ページ「車両・除雪・災害関連用品等の貸出」参照
- ・除雪ボランティア等へのボランティア保険料の補助
※10 ページ「ボランティア活動保険への加入状況」参照

(4) 災害ボランティアセンター

- ・災害時におけるボランティア活動の円滑な実施に向け、「災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」および「災害救助法に基づく救助と災害ボランティア活動との調整に関する業務委託契約」について市と協議を行った。
- ・令和4年8月28日の秋田県総合防災訓練において、災害ボランティアセンターの設置訓練を行った。

(5) ボランティア活動への支援

- ①ボランティア団体への器具・機材等の貸出
※2、3 ページ「車両・除雪・災害関連用品等の貸出」参照
- ②ボランティア活動保険への加入促進
※10 ページ「ボランティア活動保険への加入状況」参照

(6) ボランティア基金の運営

- ・秋田市ボランティア基金の運用益をボランティア団体の行う事業等に対し助成金を交付した。

①基金の状況 令和5年3月末現在

基金	123,679,000 円
----	---------------

②運用益の配分

事業助成	高齢者・障がい者（児）・児童等へのボランティア活動	1 件	36,000 円
	ボランティアの養成や啓発のための研修会・交流会	2 件	138,000 円
	災害に関わるボランティア活動	1 件	150,000 円
活動振興事業	市社協・ボランティアセンター事業（ボランティア保険）	1 件	431,375 円
合 計		5 件	755,375 円

(7) 秋田市ボランティア連絡協議会への協力

- ・事務局へ協力し、ボランティア活動をしている個人・団体および関連団体の連絡調整、情報交換を支援した。

9 自立生活支援関連事業

(1) 秋田市権利擁護センター事業 ※（ ）内は前年度1月～3月実績

- ・認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など日常生活上の判断に不安のある方が、

住み慣れた地域で自分らしい暮らしが実現できるよう、成年後見制度の利用促進と地域連携の推進を図り、権利擁護を必要とする人を確実に支援に結び付けることができるよう努めた。

①成年後見制度利用促進事業【市委託】

(ア) 広報機能

- ・市民向けセミナーの実施 2回(1)、出前講座実施 15回(2)
- ・関係機関へのリーフレット配布、ホームページやフェイスブックの更新に努めた。
- ・デジタルサイネージにより事業のPRに努めた。

(イ) 相談機能

【対象者種別】

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	一般高齢者	その他	合計
986件(48)	185件(8)	333件(40)	197件(84)	60件(8)	1,761件(188)

【相談内容】

成年後見制度に関すること	日常生活自立支援事業に関すること	権利擁護支援全般に関すること	その他	合計
1,123件(86)	178件(20)	354件(23)	106件(59)	1,761件(188)

【支援状況】

- ・成年後見制度申立支援 33件(2)

(ウ) 成年後見制度利用促進機能

- ・日常生活自立支援事業からの移行 6件(0)
- ・地域連携ネットワークに関する取り組み

利用支援検討会の開催	各種会議等出席	その他情報交換
1回(1)	9回(6)	1回(1)

②法人後見事業

法人後見運営委員会の開催	受任
3回(1)	4件(0)

・受任案件の種類

後見	保佐	補助
2件(0)	2件(0)	0件(0)

(2) 日常生活自立支援事業【県社協委託】 ※()内は前年度実績

- ・秋田市権利擁護センター事業と一体的に実施し、日常的金銭管理や書類等の預かりサービス、福祉サービスの利用援助などを行い、判断能力に不安のある高齢者や障がい者を支援した。

(ア) 相談援助・契約件数

単位：件

	相談援助件数	契約件数	新規契約件数	解約件数※
認知症高齢者等	1,844 (1,879)	29 (33)	7 (10)	10 (10)
知的障がい者	391 (437)	8 (7)	1 (3)	0 (0)
精神障がい者	1,545 (1,569)	18 (17)	4 (5)	4 (2)
その他	1 (24)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	3,781 (3,909)	55 (57)	12 (18)	14 (12)

- ※解約の内訳（理由）
- ・本人からの申し出による解約 6件 (6)
 - ・成年後見人等選任による解約 6件 (1)
 - ・本人死亡による解約 2件 (5)

(イ) その他

- ・契約締結審査会への出席 9回(10)
- ・生活支援員研修会への参加 参加者 11名(11)
- ・生活支援員 14名(14) 活動回数 810回(827)

(3) 市民小口資金の貸付および償還指導等の実施 ※ () 内は前年度実績

- ・市から400万円の原資を借り入れ、一時的に生活に困っている方に対して限度額6万円まで貸付した。(貸付期間12カ月以内・無利子)

①市民小口資金の新規貸付状況

区 分	件 数	金 額
一般（社協受付）	4件 (9)	200,000円 (415,000)
被保護者等	91件 (78)	1,606,000円 (1,241,000)
保護課経由	91件 (77)	1,606,000円 (1,216,000)
自立支援経由	0件 (1)	0円 (25,000)
合 計	95件 (87)	1,806,000円 (1,656,000)

②市民小口資金の償還状況

単位 件数：件 金額：円

区 分	現 年 度		過 年 度		計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
一般(社協)	4 (8)	120,000 (225,000)	28 (32)	553,506 (655,000)	32 (40)	673,506 (880,000)
被保護者等	84 (71)	1,211,000 (1,025,000)	35 (33)	412,500 (422,000)	119 (104)	1,623,500 (1,447,000)
保護	84 (70)	1,211,000 (1,000,000)	31 (31)	373,500 (387,000)	115 (101)	1,584,500 (1,387,000)
自立	0 (1)	0 (25,000)	4 (2)	39,000 (35,000)	4 (3)	39,000 (60,000)
計	88 (79)	1,331,000 (1,250,000)	63 (65)	966,006 (1,077,000)	151 (144)	2,297,006 (2,327,000)

③市民小口資金の完済、未完済の状況

単位 件数：件 金額：円

区 分	現 年 度		過 年 度		計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
完 済	72 (65)	1,012,000 (981,000)	40 (46)	712,006 (899,000)	112 (111)	1,724,006 (1,880,000)
未完済	23 (22)	475,000 (406,000)	295 (332)	6,186,500 (7,020,506)	354 (354)	6,661,500 (7,426,506)

④督促状送付

11月、3月送付 計 664件

⑤不能欠損

平成23年度分 19件 274,000円

(4) 生活福祉資金等貸付事業【県社協委託】 ※ () 内は前年度実績

①相談受付状況

資金の種類	件 数
総合支援資金	129件 (140)
福祉資金	3,199件 (3,419)
教育支援資金	721件 (651)
不動産担保型生活資金	93件 (50)
計	4,142件 (4,260)

②生活福祉資金の貸付状況

資金の種類		件数	金額
総合支援資金	生活支援費	1件 (1)	540,000円 (450,000)
	住宅入居費	0件 (0)	0円 (0)
	一時生活再建費	0件 (0)	0円 (0)
福祉資金	福祉費	2件 (0)	172,990円 (0)
	緊急小口資金	19件 (19)	1,721,000円 (1,810,000)
教育支援資金	教育支援費	12件 (8)	22,938,800円 (4,157,327)
	就学支度費	14件 (11)	5,322,000円 (2,940,000)
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	0件 (0)	0円 (0)
	要保護世帯向不動産担保型生活資金	0件 (1)	0円 (6,774,600)
計		48件 (40)	30,694,790円 (16,131,927)

③臨時特例つなぎ資金の貸付状況 ※ () 内は前年度実績

資金の種類	件数	金額
臨時特例つなぎ資金	0件 (0)	0円 (0)

④事務局審査

25回 (資金の借入れ、償還猶予、償還免除の各種申込みに伴う審査)

⑤生活困窮者自立支援事業との連携

市福祉事務所が開催する支援調整会議への出席 10回

⑥生活福祉資金研修会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

⑦督促状送付

6月、12月送付 計 1,443件

⑧広報あきたやホームページ等に貸付事業について掲載し啓発に努めた。

⑨新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金特例貸付の令和4年4月～9月貸付状況 ※ () 内は前年度実績

資金の種類	件数	金額
緊急小口資金	360件 (357)	24,920,000円 (54,160,000)
総合支援資金	73件 (250)	39,780,000円 (122,880,000)

※相談件数 来所 304件 (643) 電話 1,683件 (3,907)

(5) 生活困窮者への食支援 ※ () 内は前年度実績

①緊急食支援事業

市民小口資金等へ該当しなかった方や制度申請中の方で、その日の食事のままならない方々に対して食料品の支給と思い立った時に相談できるよう専門相談機関の一覧を配布した。また、ゴールデンウィークや年末年始に秋田市役所へ食料品を配備して対応した。

支援対象数 87件(88) 135名(127)

②フードドライブへの協力

家庭で余剰な食べ物を秋田市老人福祉センター内の食品回収箱に持ち寄ってもらい、それらをフードバンクあきたへ受け渡しした。

受け渡し状況 米、乾麺、飲料、缶詰、お菓子など 計 2,078点(2,231)

③コープフードバンク事業への協力

生活困窮などにより食品等を必要としている世帯を把握したときに、コープフードバンク（コープ東北サンネット事業連合）から必要なものを無償提供してもらう事業に協力した。

困窮世帯への支援 0件（1）

(6) 罹災世帯への見舞金支給

・罹災世帯に対して見舞金を支給した。

罹災区分	罹災世帯	見舞金額
全焼件数	5件	100,000円
半焼件数	0件	0円
床上浸水件数	1件	10,000円
計	6件	110,000円
前年度	30件	330,000円

10 福祉啓発・情報提供の充実

(1) 広報活動 ※（）内は前年度実績

①広報誌の発行

・「社協だより」を発行し、全戸へ配布した。

発行回数	1回（1）	発行部数	114,000部（114,000）
------	-------	------	-------------------

・「耳より info」を発行し、地区社協、地区民児協、市民センター、コミセンへ配布した。

発行回数	1回（1）	発行部数	2,500部（2,500）
------	-------	------	---------------

②ホームページの運用

・秋田市社協のホームページの更新頻度を上げ、内容の充実を図るとともに事業等の「見える化」に努めた。

・アクセス件数 60,677件（60,027）（ホームページアドレス <https://www.akita-city-shakyo.jp/>）

③SNSの運用

・ツイッター、フェイスブックにおいて定期的に更新を行った。

(2) 社会福祉大会の開催

開催日 令和4年10月31日（月）

会場 あきた芸術劇場ミルハス 中ホール

参加者 地区社協関係者、民生委員・児童委員、町内会長、福祉協力員、婦人会会員、福祉団体関係者 約400人

テーマ 「広げよう 命を守る 地域の絆」

内容 式典、福祉功労者の表彰

講演 「ウイルスと共存してきた人類 — 感じる感染症学 序章 —」

秋田赤十字病院 健診部医師 予防接種センター長

元WHO医務官（拡大予防接種計画担当） 遠田 耕平 氏

(3) 福祉教育の推進 ※（）内は前年度実績

・職場体験学習の受入れ 中学校 0校（0） 0名（0）

・バリアフリー教室への協力 小学校 6校（6） 139名（313）

・機材の貸出状況

	貸出件数	延べ数
車いす	12件 (10)	73台 (55)
高齢者疑似体験セット	7件 (14)	38台 (54)
視覚障がい者体験グラス	8件 (9)	56台 (63)
アイマスク	9件 (9)	234枚 (160)

1.1 介護保険等事業の充実

(1) ホームヘルパー事業

①利用状況

	障害者 総合支援	介護保険							計	前年度
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
延べ人数	387	338	462	695	398	193	29	4	2,506	2,977
延べ利用回数	3,562	1,728	2,768	5,302	4,539	3,835	559	273	22,566	27,774

②人員体制 (3月末現在)

常勤	非常勤	登録	計	前年度
17	2	35	54	56

③ガイドヘルパー数

登録数
3

(2) 居宅介護支援事業

①利用状況

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	前年度
秋田	延べ人数	384	401	1,218	813	414	270	159	3,659	3,611
	月平均	32	33.4	101.5	67.8	34.5	22.5	13.3	304.9	300.9
河辺	延べ人数	82	133	553	290	330	230	42	1,660	1,598
	月平均	6.8	11	46	24	27.5	19.1	3.5	138.3	133.1
せせらぎ	延べ人数	66	71	341	214	216	103	16	1,027	1,004
	月平均	5.5	5.9	28.4	17.8	18.0	8.6	1.3	85.6	83.6

②人員体制 (3月末現在)

秋田 主任ケアマネジャー 4人、ケアマネジャー 5人 計9人
 河辺 主任ケアマネジャー 3人、ケアマネジャー 1人 計4人
 せせらぎ 主任ケアマネジャー 2人、ケアマネジャー 1人 計3人

③実習生受入状況

秋田：延べ3人（介護支援専門員実務研修実習、日本赤十字秋田看護大学）

(3) 通所介護事業

①利用状況

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	前年度
河辺	実人員	9	42	113	126	119	24	15	448	522
	延べ利用回数	32	257	1,083	1,089	1,082	195	157	3,895	4,364

八橋	実人員	100	119	334	322	87	32	18	1,012	1,026
	延べ利用回数	417	868	2,320	2,593	609	220	116	7,143	7,421

②人員体制（3月末現在）

河辺 生活相談員 1人、看護師 2人、介護員 5人、調理員 1人 計 9人
 八橋 生活相談員 1人、看護師 3人、介護員 10人 計 14人

③実習生等受入状況

八橋デイサービスセンター：延べ36人（秋田市医師会立秋田看護学校）

（4）秋田市地域包括支援センター運営事業

①活動状況

単位：件

	総合相談	権利擁護	ケア会議	申請代行	地域連携等	予防プラン	内プランの委託
八橋	1,173	370	7	373	30	3,196	1,986
河辺	520	31	7	159	30	1,051	398
川元	1,551	132	11	203	54	2,179	1,551

②人員体制（3月末現在）

八橋 主任ケアマネジャー 2人、保健師・看護師 2人、社会福祉士 1人、
 認知症地域支援推進員 1人 計6人
 河辺 主任ケアマネジャー 1人、保健師・看護師 1人、社会福祉士 1人
 計3人
 川元 主任ケアマネジャー 1人、保健師・看護師 1人、社会福祉士 1人、
 認知症地域支援推進員 1人 計4人

③広報紙の発行（八橋3回、河辺1回、川元2回）・ホームページ掲載

④実習生等受入状況

八橋 延べ16人
 （秋田大学医学部保健学科、秋田市医師会立秋田看護学校、日本赤十字秋田看護大学）
 河辺 延べ6人
 （日本赤十字秋田看護大学、秋田市医師会立秋田看護学校）
 川元 延べ7人
 （秋田大学医学部保健学科、秋田市医師会立秋田看護学校、日本赤十字秋田看護大学）

⑤認知症サポーター養成講座への講師派遣

八橋 6事業所 111人参加
 河辺 1事業所 14人参加
 川元 6事業所 210人参加

⑥認知症予防事業等

・認知症カフェ等の開催（設立支援）

八橋 カフェ月（ゆえ）の設立および開催支援 計15回 延べ参加人数64人
 河辺 東圏域4包括合同で「わらび採りでリフレッシュ 元気はつらつ認知予防」
 の開催 計1回 参加人数2人
 河辺まるごと祭りで「お元気カフェ」の開催 計1回 参加人数66人
 川元 「笑顔カフェ」、「わいわいカフェ」の運営支援等 計4回

・アタマとカラダの健康教室

八橋 計15回 延べ参加人数64人
 河辺 計8回 延べ参加人数66人
 川元 計8回 延べ参加人数63人

・その他

- 八橋 ・住民や事業所等 2 か所に認知症に関する講和を実施した。
- 河辺 ・圏域内の 11 か所の地域サロンや地区組織の会合で認知症予防や権利擁護についての周知を図った。
- 川元 ・町内会や協議体、研修等 8 か所に認知症に関する講和を実施した。
・認知症疾患医療センターの医師、相談員ら関係職員と今後の連携について意見交換する機会を設け、その後市民向け公開講座で推進員業務について講話した。
・秋田中央警察署生活安全課と合同で、スーパーマーケットにおいて特殊詐欺等の防犯・予防啓発を目的としたチラシを配布した。

(5) 秋田市高齢者生活支援体制整備事業

八橋・河辺・川元の地域包括支援センター圏域において、生活支援コーディネーター1 名を配置して、生活支援サービスの担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やネットワーク化を行った。

①協議体の開催

- 八橋 ・八橋高齢者ささえ愛協議会 3 回
・旭北高齢者ささえ愛協議会 3 回
- 河辺 ・ささえ愛せせらぎ協議会 4 回
- 川元 ・川元包括圏域きずな会 5 回

②広報誌の発行 ※各圏域に配布

- 八橋 計 3 回、3,000 部
- 河辺 計 3 回、7,800 部
- 川元 計 2 回、14,000 部

③居場所づくりの支援

- 八橋 ・認知症カフェ立ち上げ支援 5 回 延べ参加人数 64 人
・地域や町内会単位の集いの場立ち上げ支援 14 町内 計 9 回 延べ参加人数 241 人
- 河辺 ・教室等の開催
ウォーキングの会 5 回 延べ参加人数 66 人
ダンディ・クッキング 1 回 延べ参加人数 4 人
- 川元 ・茨島あけぼの町内健康 YOGA (通所 B) の運営支援 計 29 回 延べ参加人数 193 人
・旭南映画の集いの運営支援 12 回 延べ参加人数 120 人

④その他

- 八橋 ・八橋新川向南町内会支え合いについての説明会開催 1 回
- 河辺 ・民生児童委員にそれぞれの町内の雪よせ支援のアンケートを実施
- 川元 ・各種講和の開催、地域団体の会合やイベント等でも講和や情報交換を開催 計 15 回 延べ参加人数 127 人

1 2 連携による推進支援

(1) 市民児協との連携

- ・市民児協と共催で秋田市社会福祉大会を開催した。
- ・市民児協と連携のもと、見守りネットワーク事業を実施し、地域福祉の充実を図った。
- ・市民児協理事会等において「秋田市権利擁護センター」、「除雪支援等」について説明した。
- ・市社協・市民児協の正副会長の懇話会を開催した。(令和4年9月14日)

(2) 秋田市地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会への協力

- ①事務局への協力
- ②ホームページ運用への協力

(3) 社会福祉法人・福祉施設等との連携

①「秋田市地域福祉おむすびネット」の実施

- ・地域における公益的な取り組みメニューを提示した「秋田市地域福祉おむすびネット」により、社会福祉法人と連携し、地域の課題解決と地域福祉力の強化に努めた。

登録法人	14法人(13)
メニュー選択	59施設(57)

※取組内容：安心キット事業への協力、ボランティア受入、講座等への専門職派遣、災害時支援など。

- ・令和5年2月15日、おむすびネット情報交換会を開催し、登録法人とおむすびネットの取り組み情報や課題について情報交換を行った。

参加法人 5法人 計6人

②市内社会福祉事業従事者スポーツ大会および合同交流会

- ・各施設の意見を踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

③秋田市老人福祉施設連絡協議会への協力

- ・事務局への協力

1 3 組織運営と財政基盤の強化

(1) 理事会、評議員会等の開催 ※ () 内は前年度実績

会議名	回数	年月日	案件
正副会長会	3回(2)	令和4年5月13日	監事会、理事会、評議員選任・解任委員会、定時評議員会の案件
		令和4年11月16日	介護保険事業等について、市社協の事務所について
		令和5年3月15日	理事会、評議員会の開催および案件
監事会	1回(1)	令和4年5月24日	令和3年度事業報告および収支決算、財産目録、貸借対照表および収支計算書監査

理 事 会	2 回(5)	令和 4 年 5 月 30 日	令和 3 年度事業報告および収支決算の承認、理事候補者の選任、育児・介護休業法等に関する規程の一部改正、評議員選任・解任委員会の開催並びに評議員選任候補者の推薦、定時評議員会の招集等
		令和 5 年 3 月 20 日	令和 4 年度資金収支第 1 次補正予算（案）、秋田市から市民小口資金原資を借入する件、市民小口資金貸付規程の一部改正、職員就業規則・準職員就業規則の一部改正、職員給与規程・準職員給与規程の一部改正、経理規程細則の一部改正、公印規程の一部改正、秋田市社協居宅介護支援せせらぎ事業所の廃止、秋田市社協ホームヘルパー事業所・八橋デイサービスセンター・河辺デイサービスセンター・秋田市社協居宅介護支援秋田事業所・秋田市社協居宅介護支援河辺事業所運営規程の一部改正、役員等賠償責任保険契約の締結、令和 5 年度事業計画（案）および資金収支予算（案）、評議員会の招集等
評 議 員 会	2 回(3)	令和 4 年 6 月 14 日	令和 3 年度事業報告および収支決算の承認、理事の選任
		令和 5 年 3 月 28 日	令和 4 年度資金収支第 1 次補正予算（案）、定款の一部改正、令和 5 年度事業計画（案）および資金収支予算（案）の承認

（2）委員会等の開催

- ①「ボランティア基金管理運営委員会」の開催（令和 4 年 7 月 5 日）
- ②「表彰者審査委員会」の開催（令和 4 年 9 月 14 日）
- ③「評議員選任・解任委員会」の開催（令和 4 年 6 月 3 日）
- ④「法人後見運営委員会」の開催（令和 4 年 7 月 5 日、12 月 19 日、令和 5 年 1 月 23 日）

（3）組織運営体制の強化

- ①諸規程の改正を行い、運営体制の整備を図った。
- ②重層的支援体制整備事業や生活困窮者自立支援事業等について市と協議した。
- ③介護保険事業等の現状と課題を見える化し、今後の方向性について検討した。

（4）事業の評価点検

これまでの事業の評価・点検を実施し、秋田市地域福祉アクションプラン 2019（秋田市地域福祉活動計画）の進行管理を行った。

1 4 財源の確保

(1) 会員加入の促進

ア 一般会員の状況 (R5. 3. 31 現在)

39 地区 90,370 世帯 × 360 円 = 32,533,200 円

(※前年度実績 39 地区 89,981 世帯 × 360 円 = 32,393,160 円)

イ 特別会員の状況 (R5. 3. 31 現在)

単位 会費：円

区 分	会員数	口数	会 費	前 年 度			
				会員数	口数	会 費	
個 人	地区社協役員	294 名	294 口	294,000	293 名	293 口	293,000
	民生委員・児童委員	717 名	717 口	717,000	717 名	717 口	717,000
	福祉施設職員	36 名	46 口	46,000	39 名	49 口	49,000
	一般市民	24 名	36 口	36,000	26 名	47 口	47,000
	市・社協職員	224 名	225 口	225,000	229 名	229 口	229,000
小 計	1,295 名	1,318 口	1,318,000	1,304 名	1,335 口	1,335,000	
団 体	地区社協	39 団体	39 口	195,000	39 団体	39 口	195,000
	社会福祉事業施設	53 団体	66 口	132,000	53 団体	66 口	132,000
	社会福祉団体	36 団体	41 口	82,000	34 団体	44 口	88,000
	企業・法人	28 団体	28 口	280,000	29 団体	29 口	290,000
小 計	156 団体	174 口	689,000	155 団体	178 口	705,000	
合 計	—	1,492 口	2,007,000	—	1,513 口	2,040,000	

(2) 共同募金への協力

①共同募金の助成を受けて事業を行っていることを PR し、市民の意識の高揚を図った。

②秋田市共同募金委員会事務局へ協力し、地域福祉活動のための財源確保に努めた。

(3) 善意銀行の運営 ※ () 内は前年度実績

①市民の善意で預託された一般寄付金や指定寄付金等は、本会事業の目的とする事業へ充当した。

そのほか、交通災害遺児激励金等については指定された事業等へ充当した。

一 般 寄 付 金	篤 志 寄 付	33 件 (29)	863,333 円 (738,278)	
	香 典 返 し	4 件 (3)	310,000 円 (340,000)	
	計	37 件 (32)	1,173,333 円 (1,078,278)	
指 定 寄 付 金	一 円 玉 寄 付 金	1 件 (1)	24,000 円 (20,000)	交通災害遺児激励金に充当
	その他指定寄付金	4 件 (5)	244,672 円 (654,940)	
	計	5 件 (6)	268,672 円 (674,940)	
合 計		42 件 (38)	1,442,005 円 (1,753,218)	

②企業・団体からの寄付物品等

- ・アルファ米 241 個 (秋田県信用保証協会)
- ・備蓄用水・食料 6 箱 (大東建託株式会社秋田支店)
- ・備蓄品(水・アルミブランケット等) 約 1,120 (マルハン茨島店)
- ・布団 10 組 (ダスキンヘルスレント)

・タオル	2,000 枚	(NPO 法人トップスポーツコンソーシアム秋田)
・タオル	100 枚	(寺内小学区社会福祉協議会)
・手作りお手玉	230 個	(秋田市母子寡婦福祉連合会 夢クラブ)
・カレンダー	2,300 部	(株式会社くまがい印刷)
・カレンダー	54 部	(株式会社秋田グランドリース)
・カレンダー	10 部	(美和電気工業株式会社秋田営業所)
・カレンダー、手帳	82 部	(石油資源開発株式会社)
・カレンダー、手帳	125 部	(東北電力株式会社秋田火力発電所)
・BOX ティッシュ、カレンダー	370 部	(株式会社ダイナム秋田臨海店)
・車いす	1 台	(公益財団法人秋田市総合振興公社)
・エアーマットレス	2 台	(公益財団法人秋田市総合振興公社)

③個人からの寄付物品等

人参、生理用品、紙おむつ、紙パンツ、タオルケット、バスタオル、シャンプー、手袋、マスク、老眼鏡、吸入器、ヘルストロン、カレンダー、テディベア

(4) 基金および積立金の運用

- ・国債等により運用した。(ボランティア基金積立資産、福祉事業基金積立資産、居宅介護等積立資産)

15 役職員の資質の向上と派遣

(1) 役職員研修

- ・役職員が秋田県社会福祉大会の講演会(秋田市)へ参加し、研修した。
- ・研修計画に基づき、職員研修の機会を設け、資質の向上と自己研鑽のため職員の育成に努めた。
- ・新人職員に対して研修を実施した。
- ・内部研修を実施した。

(2) 研修会への参加

- ・職員の資質向上のため各種研修会へ職員参加(オンラインも含む。)

(3) 役職員派遣

- ・地区、団体等の要請により役職員を講師派遣および行事へ派遣した。

16 その他

(1) 秋田市河辺総合福祉交流センター管理事業【市委託】 ※()内は前年度実績

- ・利用状況

内容	会議室等					屋外
	福祉関係	保健関係	社会・教育	その他	合計	グラウンド ゴルフ
件数	246 (243)	10 (16)	44 (35)	3 (12)	303 (306)	43 (52)
人数	3,630 (3,491)	823 (3,547)	941 (773)	684 (2,038)	6,078 (9,849)	3,342 (2,665)

(2) 秋田県社会福祉法人経営者協議会の秋田県地域公益活動事業

①秋田県地域公益活動事業へ参画法人として拠出金を負担。(年額1万円)

②生活困窮者への生活用品の支給

地域包括支援センターを受託している秋田市内の12法人と連携を図り、生活に困窮している高齢者世帯等に食料品、衣類、おむつ、灯油などの支援を行った。また、寄付された玄米を精米し、生活困窮者へ配布した。

事業費 88,952 円 (内秋田県地域公益活動事業配分金 50,000 円)

支援対象世帯 18 世帯

(3) 秋田県共同募金会からの助成

秋田県共同募金会から助成を受けて、災害時等で使用する資機材を整備した。

資機材の購入物品

軽トラック

助成金額 932,000 円

(4) 包括的な連携協力に関する協定の締結

令和4年7月20日、日本赤十字秋田看護大学並びに日本赤十字秋田短期大学と秋田市社会福祉協議会が災害時におけるボランティアの確保や防災活動、地域福祉に関する取り組み、介護予防、認知症予防など包括的な連携協力に関する協定を締結した。

(5) 災害支援

令和4年8月12日の大雨により被災した五城目町の復興支援として、五城目町災害ボランティアセンターへ職員派遣と資機材の貸出しを行った。

派遣期間 令和4年8月18日(木)～28日(日)

派遣人数 4名

支援内容 災害ボランティアセンター運営補助(マッチング、ニーズ調査)

社 協 活 動 主 要 記 録

令和	年月日	主 要 事 項	開催場所等
4.	5.13	正副会長会(令和3年度事業報告および収支決算等)	秋田市老人福祉センター
	24	監事会(令和3年度監査)	〃
	30	理事会(令和3年度事業報告および決算等)	〃
6.	3	評議員選任・解任委員会(評議員の選任について)	〃
	14	定時評議員会(令和3年度事業報告および決算等)	〃
	23	秋田市地区社会福祉協議会連絡会総会	〃
7.	5	秋田市ボランティア基金管理運営委員会	〃
	20	日本赤十字秋田看護大学との包括的な連携協定に関する調印式	日本赤十字秋田看護大学
8.	2	秋田市社会福祉大会打合わせ会	秋田市老人福祉センター
	22	秋田市補助事業に係る状況調査	〃
	28	秋田県総合防災訓練(災害ボランティアセンター設置訓練)	〃
	9.14	秋田市社会福祉協議会表彰者審査委員会	〃
14	14	市社協・市民児協正副会長懇話会	〃
	10.13	秋田市スポーツ協会チャリティーグランドゴルフ贈呈式(寄附金)	〃
22	22	桜雅会歌と踊りのフェスティバル(寄附金)	秋田テルサ
	31	秋田市社会福祉大会	あきた芸術劇場ミルハス
	11.10	秋田市PTA連合会「一円玉福祉募金」贈呈式	秋田市老人福祉センター
13	13	あずさ愛福祉歌謡祭贈呈式(寄附金)	イヤタカ
	16	正副会長会(懸案事項)	秋田市老人福祉センター
16	16	秋田年金事務所資格および報酬等の調査	〃
	22	くまがい印刷贈呈式(カレンダー)	〃
	23	安心キット(救急医療情報キット)事業推進会議	〃
	5.1.24	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社寄附贈呈式(寄附金)	〃
	2.10	秋田市地域福祉合同研修会	あきた芸術劇場ミルハス
15	15	おむすびネット情報交換会	イヤタカ
	22	地区社協Aブロック研修会	協働大町ビル
24	24	秋田市地区社協連絡会研修会	イヤタカ
	24	ブロック会議	〃
24	24	事務担当者研修会	〃
	3.1	地区社協Cブロック研修会	協働大町ビル
10	10	秋田市総合振興公社贈呈式(車いす・エアーマットレス)	秋田市老人福祉センター
	15	正副会長会(補正予算、令和5年度事業計画および予算等)	〃
20	20	理事会(補正予算、令和5年度事業計画および予算等)	〃
	28	評議員会(補正予算、令和5年度事業計画および予算等)	さきがけホール
31	31	居宅介護支援せせらぎ事業所廃止	